

令和4年4月14日公表

作物統計調査 令和3年産かきの結果樹面積、収穫量及び出荷量 (和歌山県、奈良県)

-収穫量は和歌山県が前年産に比べ2%減少、奈良県は同2%増加-

【調査結果の概要】

1 結果樹面積

結果樹面積は、和歌山県が2,480ha、奈良県が1,780haで、前年産に比べそれぞれ20ha（1%）、10ha（1%）減少した。

2 収穫量及び出荷量

収穫量は、和歌山県が3万9,700t、奈良県が2万8,300tで、前年産に比べ和歌山県が800t（2%）減少し、奈良県が600t（2%）増加した。

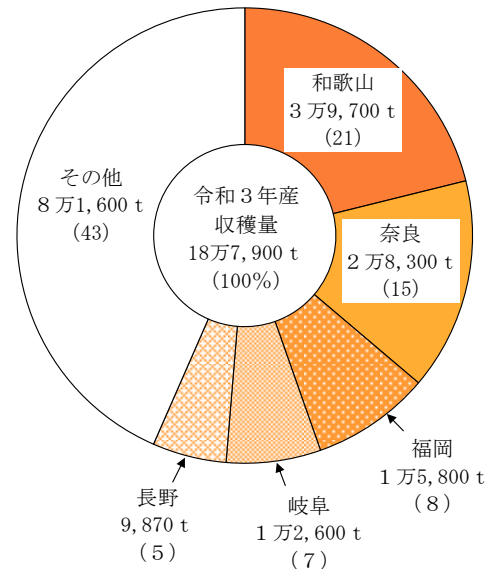
出荷量は、和歌山県が3万5,900t、奈良県が2万6,300tで、前年産に比べ和歌山県が700t（2%）減少し、奈良県が500t（2%）増加した。

なお、収穫量の全国順位は、和歌山県が1位、奈良県が2位となっており、この2県で全国の36%を占めている。

表 かきの結果樹面積、収穫量及び出荷量

区分	単位	令和3年産	前年産との比較	
			対差	増減率
%				
和歌山				
結果樹面積	ha	2,480	△ 20	△ 1
収穫量	t	39,700	△ 800	△ 2
出荷量	t	35,900	△ 700	△ 2
奈良				
結果樹面積	ha	1,780	△ 10	△ 1
収穫量	t	28,300	600	2
出荷量	t	26,300	500	2

図1 かきの都道府県別収穫量



注：統計数値及び割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

○ 結果樹面積とは、栽培面積のうち生産者が当該年産の果実を収穫するために結実させた面積をいう。

◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 食料・農業・農村基本計画における果実の生産努力目標の策定及びその達成状況の検証のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく果樹共済事業の適切な運営のための資料

◎ 累年データ

かきの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量の推移

1 和歌山県

2 奈良県

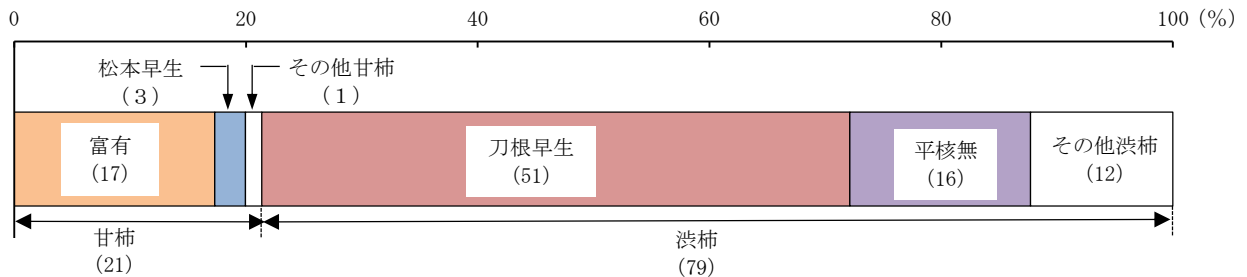
区分	1 和歌山県				2 奈良県			
	結果樹面積	10 a 当たり収量	収穫量	出荷量	結果樹面積	10 a 当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	ha	kg	t	t
平成24年産	2,780	1,940	53,900	48,200	1,860	1,620	30,100	27,900
25	2,740	1,760	48,200	43,400	1,860	1,530	28,500	26,800
26	2,700	1,740	47,000	42,600	1,840	1,770	32,600	30,500
27	2,660	1,900	50,500	45,100	1,820	1,680	30,600	28,500
28	2,600	1,790	46,500	42,000	1,810	1,890	34,200	31,600
29	2,540	1,870	47,500	42,800	1,810	1,810	32,800	30,800
30	2,530	1,550	39,200	35,300	1,800	1,570	28,300	26,300
令和元	2,510	1,730	43,400	39,200	1,790	1,750	31,300	29,100
2	2,500	1,620	40,500	36,600	1,790	1,550	27,700	25,800
3 (概数)	2,480	1,600	39,700	35,900	1,780	1,590	28,300	26,300

資料：農林水産省統計部『果樹生産出荷統計』

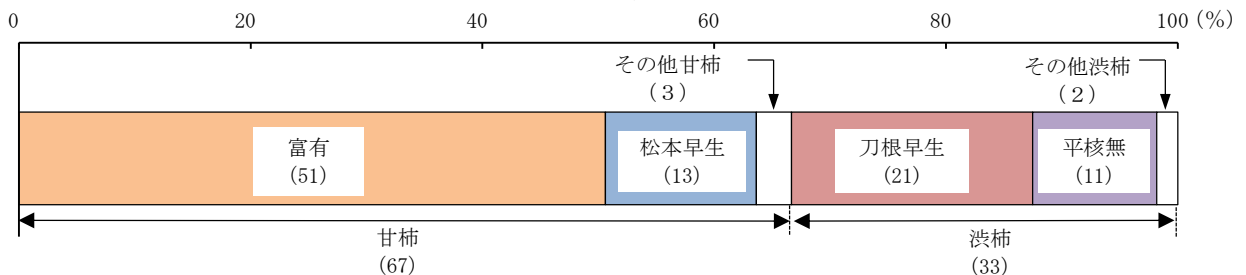
◎ 関連データ

1 令和元年産かきの品種別栽培面積割合

(1) 和歌山県



(2) 奈良県

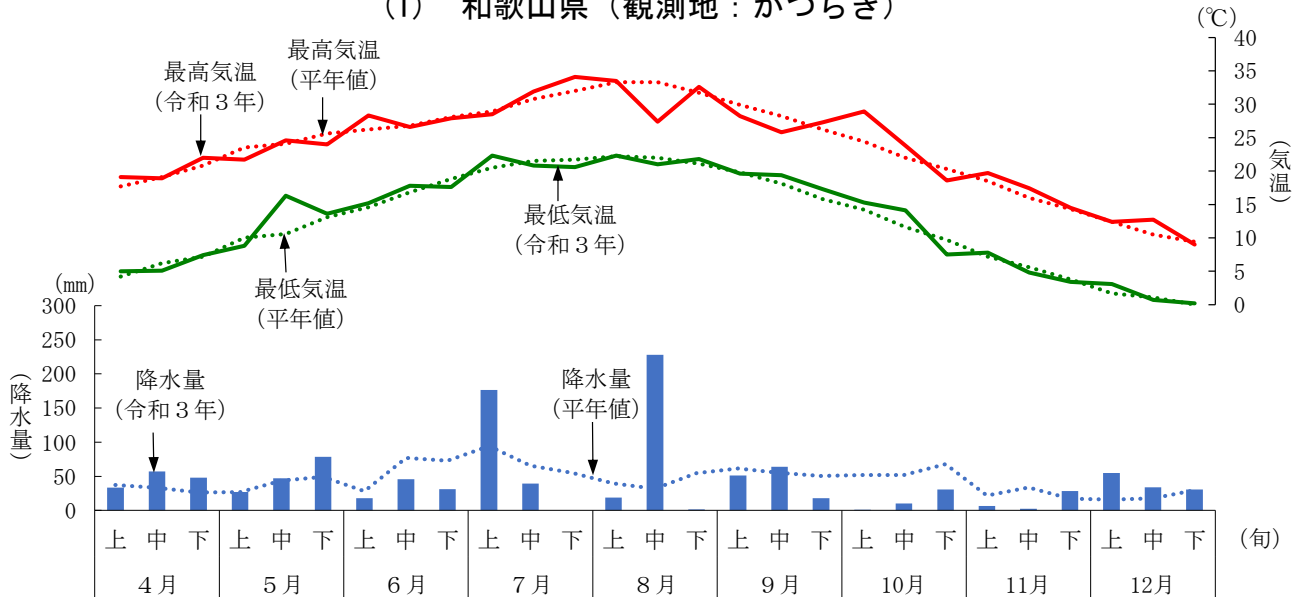


資料：農林水産省農産局『令和元年産特産果樹生産動向等調査』

注：割合については、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

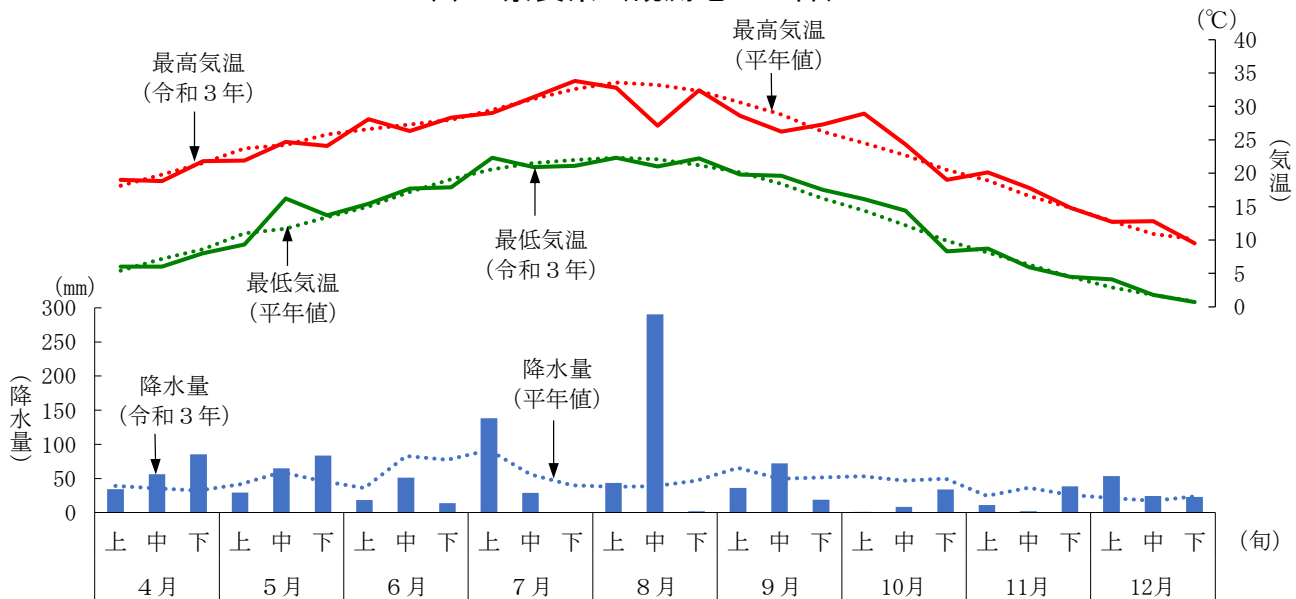
2 旬別気象（令和3年4月～12月）

(1) 和歌山県（観測地：かつらぎ）

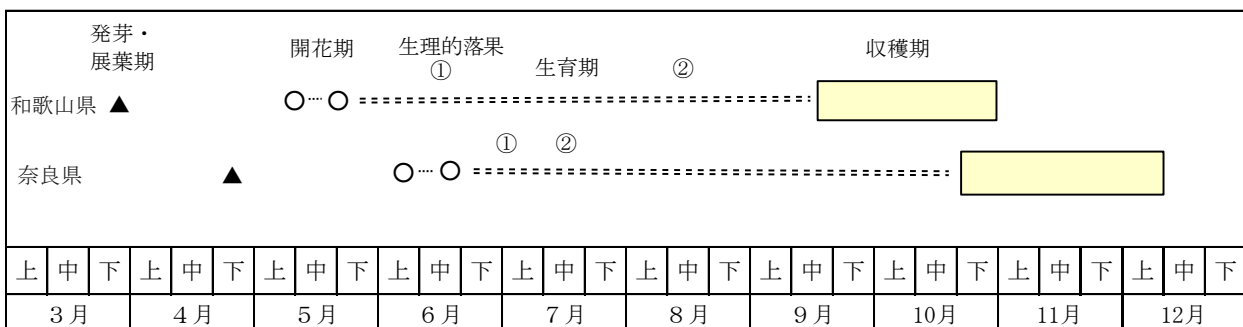


資料：気象庁「アメダスデータ」（以下、2(2)まで同じ。）

(2) 奈良県（観測地：五條）



3 かきの生育ステージ（和歌山県・奈良県）



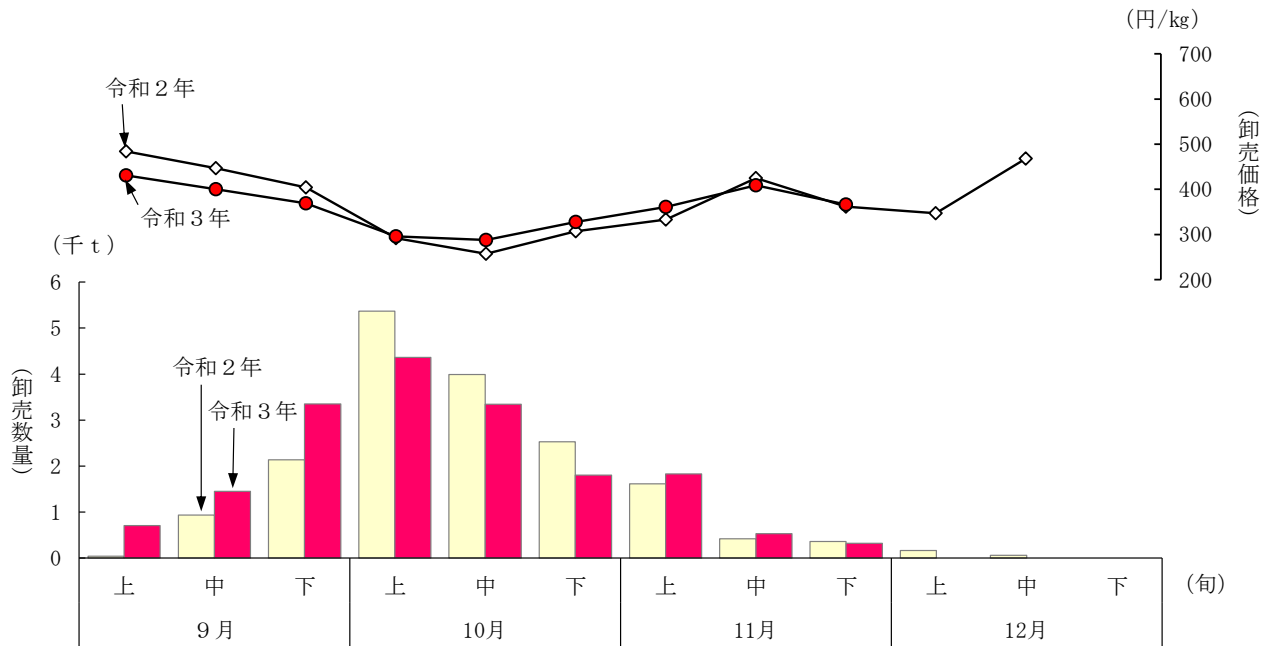
資料：農林水産省統計部『果樹生育ステージ総覧』

注：1 和歌山県は（刀根早生）、奈良県は（富有）の露地栽培を転記した。

2 ①②は生理的落果期で、①は一次落果、②は二次落果時期である。

4 かきの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場計・産地別）

(1) 和歌山県

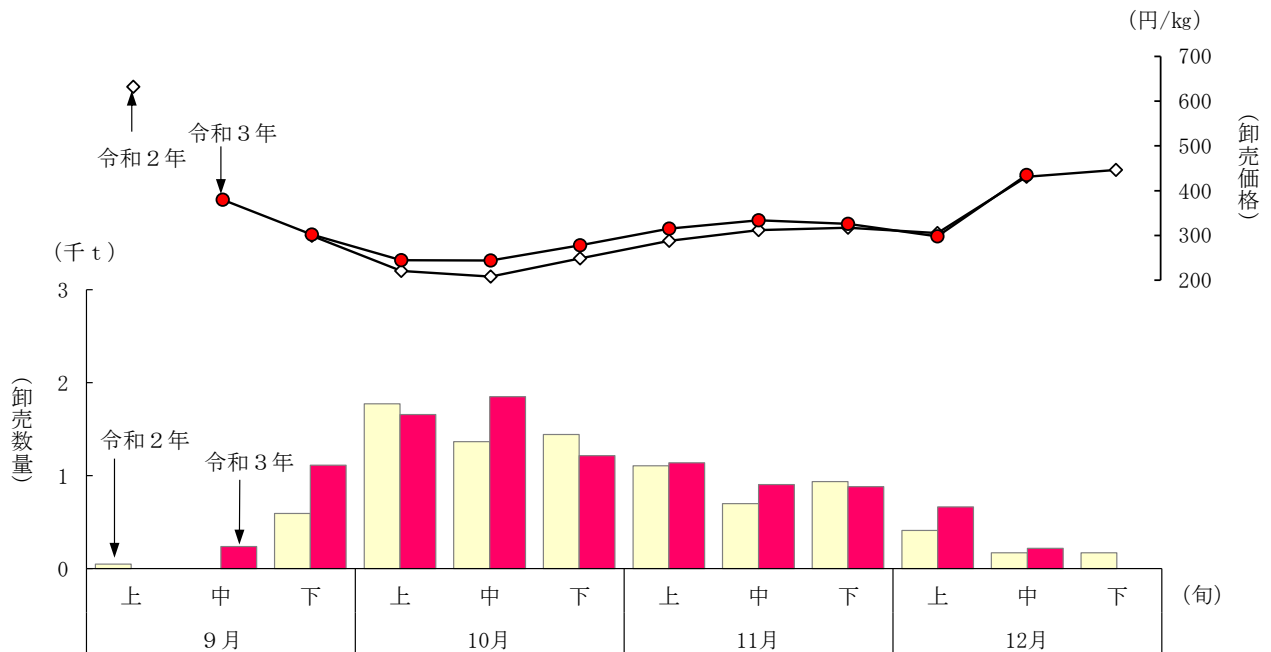


資料：農林水産省統計部「青果物卸売市場調査」（以下、4(2)まで同じ。）

注：1 全国の主要都市に所在する主要な中央卸売市場の日別値を積み上げて算出したものである（以下、4(2)まで同じ。）。

2 令和2年12月下旬、令和3年12月上旬から下旬については、主要卸売市場の取扱数量の多い順に80%を占めるまでの産地に含まれていないため公表していない。

(2) 奈良県



注：令和2年9月中旬、令和3年9月上旬及び12月下旬については、主要卸売市場の取扱数量の多い順に80%を占めるまでの産地に含まれていないため公表していない。

【調査結果】

1 和歌山県

(1) 結果樹面積

結果樹面積は2,480haで、前年産に比べ20ha（1%）減少した。

(2) 生育概況

結果数は、8月中旬の天候不順の影響により生理的落果が多く発生したことから前年産を下回った。

果実の肥大は、適度な降雨があったことから、小玉傾向であった前年産に比べ良好となった。

被害は、灰色かび病及び炭そ病の発生がみられた。

(3) 10a 当たり収量

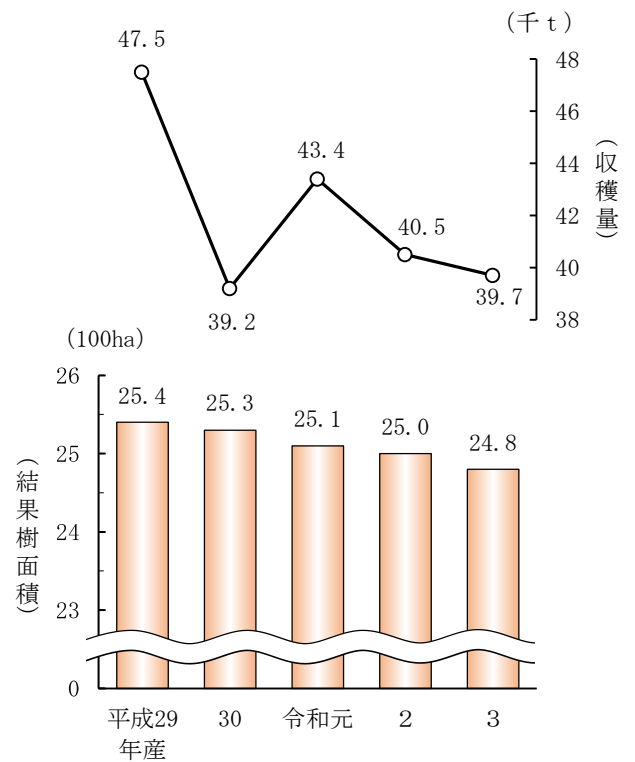
10a 当たり収量は1,600kgで、前年産に比べ20kg（1%）下回った。

(4) 収穫量・出荷量

収穫量は3万9,700t、出荷量は3万5,900tで、前年産に比べそれぞれ800t（2%）、700t（2%）減少した。

なお、収穫量は昭和54年産から43年連続全国1位となっており、全国の21%を占めている。

図2 かきの結果樹面積及び収穫量の推移（和歌山県）



2 奈良県

(1) 結果樹面積

結果樹面積は1,780haで、前年産に比べ10ha（1％）減少した。

(2) 生育概況

結果数は、開花期以降の天候がおおむね順調であったことから、前年産に比べやや多くなった。

果実の肥大は、適度な降雨があったことから、小玉傾向であった前年産に比べ良好となった。

被害は、炭そ病の発生がみられた。

(3) 10 a 当たり収量

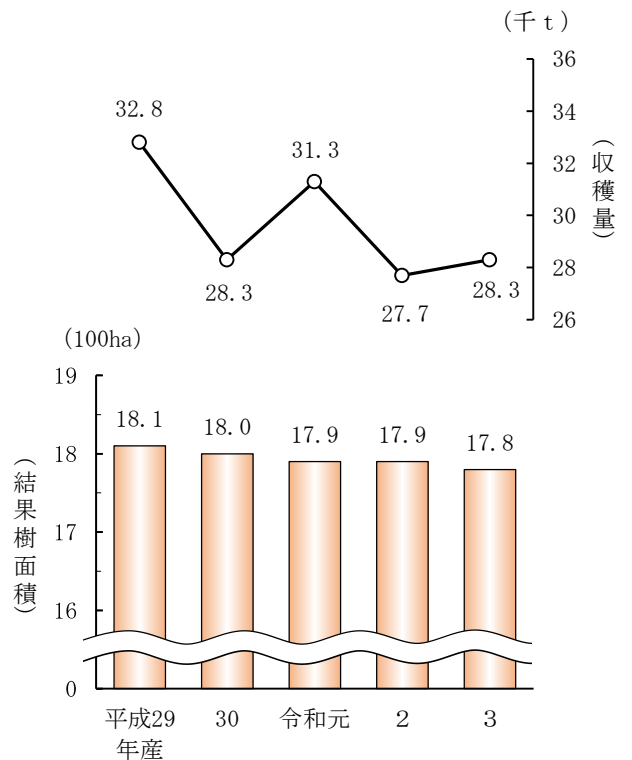
10 a 当たり収量は1,590kgで、前年産に比べ40kg（3％）上回った。

これは、結果数が前年産に比べやや多かったことによる。

(4) 収穫量・出荷量

収穫量は2万8,300 t、出荷量は2万6,300 tで、前年産に比べそれぞれ600 t（2％）、500 t（2％）増加した。

図3 かきの結果樹面積及び収穫量の推移（奈良県）



【統計表】

令和3年産かきの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量
(全国、収穫量上位10主産県)

収穫量の 全国順位	区分	結果樹 面積	10 a 当たり 収 量	収穫量	出荷量	対前年産比			
						結果樹 面 積	10 a 当たり 収 量	収穫量	出荷量
		ha	kg	t	t	%	%	%	%
-	全 国	18,100	1,040	187,900	162,300	98	100	97	98
1	和 歌 山	2,480	1,600	39,700	35,900	99	99	98	98
2	奈 良	1,780	1,590	28,300	26,300	99	103	102	102
3	福 岡	1,140	1,390	15,800	14,400	97	110	107	107
4	岐 阜	1,210	1,040	12,600	11,400	99	109	108	108
5	長 野	658	1,500	9,870	9,210	100	116	116	117
6	愛 知	972	976	9,490	8,650	94	90	85	84
7	新 潟	637	1,260	8,030	7,390	100	85	85	85
8	愛 媛	567	1,360	7,710	6,780	97	110	106	106
9	福 島	947	780	7,390	6,250	96	80	76	76
10	山 形	768	720	5,530	4,480	97	84	82	82

注：1 主産県とは、全国の栽培面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び果樹共済事業を実施する都道府県をいい、近畿では和歌山県及び奈良県が該当する。
2 全国値については、主産県の調査結果を基に推計した。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作況調査の果樹調査として実施したものであり、果樹の生産に関する実態を明らかにし、食料・農業・農村基本計画における果実の生産努力目標の策定及びその達成状況の検証、農業保険法に基づく果樹共済事業の適切な運営等のための資料を整備することを目的としている。

2 調査の範囲・対象

令和3年産については、主産県を調査の対象としている。

なお、全ての都道府県を調査対象とする全国調査を6年ごとに実施しており（直近では令和2年産）、全国調査年以外の年にあつては、調査対象品目ごとに、直近の全国調査年における面積調査結果に基づき、全国の栽培面積（令和2年）のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び調査対象品目に係る果樹共済事業を実施する都道府県を調査の範囲（主産県）としており、近畿では和歌山県と奈良県が該当する。

調査対象は、主産県において、調査対象品目を取り扱っている全ての農協等の関係団体（関係団体調査）及び標本経営体（標本経営体調査）とした。

3 調査事項

(1) 関係団体調査

調査対象品目の結果樹面積及び出荷量

(2) 標本経営体調査

調査対象品目の結果樹面積、出荷量及び「自家用、無償の贈与の量」

4 調査期日

収穫・出荷終了時

なお、本調査の年産区分の主たる収穫期間は、「令和3年9月～12月」である。

5 調査方法

本調査は、関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査及び標本経営体に対する往復郵送調査により行った。

6 集計方法

(1) 都道府県値

ア 結果樹面積の集計は、関係団体調査結果を基に、職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完している。

イ 収穫量の集計は、関係団体調査結果及び標本経営体調査結果から得られた10a当たり収量に結果樹面積を乗じて算出し、必要に応じて職員又は統計調査員による巡回及び職員による情報収集により補完している。

ウ 出荷量の集計は、関係団体調査結果から得られた出荷量及び標本経営体調査結果から得られた10a当たり出荷量等を基に算出している。

(2) 全国値

本年産調査は主産県調査年に当たることから、全国調査を行った令和2年産の調査結果に基づき、次により推計した。

ア 結果樹面積

$$\text{全国値} = \text{結果樹面積の主産県値} + \frac{\text{結果樹面積の主産県値}}{\text{栽培面積の主産県値}} \times (\text{栽培面積の全国値} - \text{栽培面積の主産県値})$$

(注) 「栽培面積」は、農林水産省統計部が令和4年3月に公表した『令和3年耕地及び作付面積統計』による。

イ 収穫量及び出荷量

$$\text{全国値} = \frac{\text{令和2年産の全国値} \times \text{当年産の主産県値}}{\text{令和2年産の主産県値}}$$

7 用語の解説

- (1) 栽培面積とは、調査日現在において、複数年にわたって収穫を行うことができる永年性作物の栽培に利用している面積をいう。
- (2) 結果樹面積とは、栽培面積のうち生産者が当該年産の果実を収穫するために結実させた面積をいう。
- (3) 収穫量とは、収穫したもののうち生食用又は加工用として流通する基準を満たすものの重量をいう。
- (4) 出荷量とは、収穫量のうち生食用、加工用として販売した量をいい、生産者が自家消費した量及び種子用、飼料用として販売したものは含めない。

8 利用上の注意

- (1) 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原数		6桁 (10万)	5桁 (1万)	4桁 (1,000)	3桁以下 (100)
四捨五入する桁数(下から)		2桁		1桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前(原数)	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値(統計数値)	123,500	12,300	1,230	123

- (2) 表中に用いた記号は次のとおりである。
「△」：負数又は減少したもの
- (3) この資料に掲載された数値を他に転載する場合は、「作物統計調査 令和3年産かきの結果樹面積、収穫量及び出荷量(和歌山県、奈良県)」(近畿農政局)による旨を記載してください。

9 その他

令和3年産の数値は、概数値である。確定した詳細な数値は、農林水産省ホームページに掲載(令和4年12月予定)するとともに、その後、『近畿農林水産統計年報』にも掲載する。

なお、この資料に掲載した数値の正誤情報は、近畿農政局ホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

- 近畿の統計調査結果は、近畿農政局ホームページ中の「統計情報」で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/> 】

- 全国の統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の「統計情報」で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「果樹」の「作況調査（果樹）」で御覧いただけます。

【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kazyu/index.html#y8 】

【関連リンク】

果樹関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局＞園芸作物（野菜・果樹・花き）＞果樹のページ

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/>

果樹農業振興基本方針：農林水産省＞組織別から探す＞農産局＞園芸作物（野菜・果樹・花き）＞果樹のページ＞果樹施策の概要

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/attach/pdf/index-96.pdf>

【お問合せ先】

- ◎本統計調査結果について

近畿農政局統計部生産流通消費統計課

電話：（代表） 075-451-9161 内線 2658

（直通） 075-414-9650

F A X : 075-417-2067

- ◎農林水産統計全般について

近畿農政局統計部統計企画課

電話：（代表） 075-451-9161 内線 2623

（直通） 075-414-9620

F A X : 075-417-2067



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



スマホでみる農林統計

★ 近畿の府県別、市町村別の主要農林水産統計データをスマートフォンで簡単に閲覧できます。

近畿農政局ホームページから、PDF ファイルをダウンロードして、御利用いただけます。動作には、別途 Adobe Reader が必要です。

URL : <https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/smapho/PDF/200403.pdf>

